

# ビブリオバトル実施支援事業実施要項

## 1 目的

県内各学校または市町村にビブリオバトルに関する専門的知識を有する者等（以下「支援者」という。）を派遣し、各学校または市町村におけるビブリオバトルの実施を支援することをおして、子どもの読書活動の推進を図る。

## 2 支援者

ビブリオバトルに関する専門的知識を有するビブリオバトルの経験のある大学生

## 3 派遣対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校及び市町村

## 4 派遣手続き

- (1) 派遣を希望する団体等（以下「申請者」という。）は、ビブリオバトル実施支援事業申請書（様式1）を8に記載する受付期間内に県教育委員会に提出する。
- (2) 県教育委員会は、ビブリオバトル実施支援決定通知書（様式2）を申請者に送付する。  
※申込多数の場合は、支援者と日程調整の上、派遣先を決定する。
- (3) 県教育委員会は、ビブリオバトル実施支援決定通知書（様式2）の写しを添付して、様式3により支援者に依頼を行う。

## 5 支援内容

- (1) 支援者によるビブリオバトルのデモンストレーション
- (2) 校内（市町村等）のビブリオバトル大会での進行補助、総評  
※詳細は別紙

## 6 経費

本派遣事業に伴う謝金、交通費は予算の範囲内で県教育委員会が負担する。  
経費負担の基準については県教育委員会が別途定める。

## 7 実施報告書

申請者は、事業終了後、速やかにビブリオバトル実施支援事業報告書（様式4）を県教育委員会に提出する。

## 8 受付期間

受付期間は以下のとおりとする。

※支援日については、希望時期を参考に県教育委員会が調整する。

※予定数（年間10校程度）に達した場合は第1期で受付を終了する。

第1期 ～4月30日

（開催時期：令和元年6月1日～令和2年2月29日）

（第2期）令和元年7月1日～7月31日

（開催時期：令和元年9月1日～令和2年2月29日）

（第3期）令和元年10月1日～10月31日

（開催時期：令和元年12月1日～令和2年2月29日）

## 【別紙】

### ビブリオバトル実施支援事業について

社会教育課

#### 1 ビブリオバトルとは

(1) ビブリオバトル=BIBLIO(本)の BATTLE(戦い) = 知的書評合戦

(2) 2007年、京都大学の谷口忠大氏が考案。

研究室の勉強会が盛り上がり、  
「いい本に出会える仕組み自体を勉強会の中に盛り込めな  
いだろうか」と考え、考案。

(3) キャッチコピーは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」

(4) 公式ルール (ビブリオバトル普及委員会)

- ① 発表参加者 (バトラー) が読んで面白いと思った本を持って集まる。
  - ・他人が推薦したものでもかまわないが、必ず発表者自身が選ぶこと。
  - ・それぞれの開催でテーマを設定することは問題ない。
- ② 順番に1人5分間で本を紹介する。
  - ・カウントダウンタイマーをまわしながら本を紹介する。
  - ・5分が過ぎた時点でタイムアップとし、発表を終了する。
  - ・レジュメやプレゼン資料の配布等はせず、できるだけライブ感をもって発表する。
  - ・発表者は5分を使い切る。
- ③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関する2～3分のディスカッションを行う。
  - ・発表内容の揚げ足をとったり、批判したりするようなことはせず、発表内容でわからなかった点の追加説明や投票の判断をするための材料について聞く。
  - ・全参加者がその場が楽しい場となるように配慮する。
- ④ すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一人一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。
  - ・紳士協定として、自分の紹介した本には投票せず、紹介者も他の発表者の本に投票する。
  - ・チャンプ本は参加者全員の投票で民主的に決定され、教員や司会者、審査員といった少数権力者により決定されてはならない。

#### 2 学校教育で行うにあたり、想定される効果 (国語科の例)

##### ○読書活動の推進

自ら本を選ぶ力、読んでみたいと思える本に出会える機会の増加

→新しい本の魅力に気づき、広がりのある読書につながる

(指導要領指導内容) C 読むこと (中1オ) (中2エ・オ) (中3エ)

##### ○プレゼンテーション能力の育成

相手意識、目的意識、説得力のある話し方、発表内容の精選

(指導要領指導内容) A 話すこと・聞くこと (中1ウ) (中2イ) (中3ア・イ)

##### ○聞き手の育成

1人1票持っていることで、能動的に聞く

(指導要領指導内容) A 話すこと・聞くこと (中1エ) (中2エ)

### 3 ビブリオバトル実施プログラム例

#### (1) 支援者によるビブリオバトルデモンストレーション

活動	留意点	役割分担例	
		支援者	申請者
1 ビブリオバトルって何？ (8分)	<p>ビブリオバトルの概要を聞く。</p> <p>支援者からビブリオバトルの概要について説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成り立ち、目的</li> <li>・(ビブリオバトルの様子(動画))</li> <li>・手順</li> <li>・公式ルール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要についての説明</li> </ul>	
2 ビブリオバトルを見てみよう (20～30分)	<p>支援者によるビブリオバトルの様子を見る。 (バトラー3～5名程度) (カウントダウンタイマーをスクリーンに投影)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本の紹介(5分)</li> <li>・ディスカッション・質問(2～3分)(児童・生徒、先生も参加)</li> </ul> <p><b>【質問内容】</b></p> <p>もっと説明して欲しいこと 投票するために参考としたいことなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の発表が終わったら、投票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブリオバトル実演</li> <li>・質問</li> <li>・投票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問</li> <li>・投票</li> </ul>
3 バトラーの皆さんの話を聞こう (8分)	<p>支援者(バトラー)に質問をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブリオバトルの魅力</li> <li>・ビブリオバトルをするにあたって気をつけていること</li> <li>・ビブリオバトルを通じて自分が変わったところ</li> <li>・今日の本を選んだ理由</li> </ul> <p><b>【同時進行】</b>投票の集計作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答</li> <li>・集計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問</li> </ul>
4 結果発表 (3分)	<p>「チャンプ本」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チャンプ本」のバトラー(支援者)に感想を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果発表</li> <li>・感想発表</li> </ul>	
(5感想(3分))	<p>(生徒数名に感想を聞く。)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想発表</li> </ul>
	<p>※事後(生徒全員)</p> <p>簡単な感想用紙に記入してもらい、今後の参考とする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想記入</li> </ul>

(2) ビブリオバトル大会の進行補助及び総評

活動	留意点	役割分担例	
		支援者	申請者
1 ビブリオバトル大会	① ルールの確認	・ルールの確認	
	② 本の紹介 (カウントダウンタイマーをスクリーンに投影) ・本の紹介 (5分) ・ディスカッション・質問 (2～3分) (見学者も参加) 【質問内容】 もっと説明して欲しいこと 投票するために参考としたいこと など	・進行	(・進行)
	③ 投票・集計	(・投票) ・集計	・投票 (・集計)
	④ 「チャンプ本」を発表する。 ・「チャンプ本」のバトラーに感想を聞く		・感想発表
2 総評 (5分)	支援者に大会の感想を話してもらおう、又は、ビブリオバトルに関する質疑応答	・感想発表 ・質疑応答	・質問
	※事後 (参加者全員) 簡単な感想用紙に記入してもらい、今後の参考とする。		・感想記入

※役割分担は申請者の希望に合わせ、打合せで決定する。

※(1)と(2)を組み合わせた実施プログラムも可能。

**様式 1**

送り先：鳥取県教育委員会事務局社会教育課  
ファクシミリ：（０８５７）２６－８１７５  
電子メール：shakaikyoiu@pref.tottori.lg.jp

## ビブリオバトル実施支援事業申請書

鳥取県教育委員会事務局  
社会教育課長 様

次のとおり実施したいので、ビブリオバトル実施支援事業実施要項に基づくビブリオバトル支援者の派遣を申請します。

申請日 年 月 日

団体名			代表者（職）氏名
担当者	担当者（職）氏名	担当者連絡先 電 話 ファクシミリ 電子メール *可能な限り担当者のメールアドレスをご記入ください。	
支援を希望する日時	1	令和 年 月 ( 上旬・中旬・下旬 ) ( 土日祝日・平日 ) いずれかに○ ( 時 分～ 時 分) _____ 分間 ※上限90分間	
	2	令和 年 月 ( 上旬・中旬・下旬 ) ( 土日祝日・平日 ) いずれかに○ ( 時 分～ 時 分) _____ 分間 ※上限90分間	
	3	令和 年 月 ( 上旬・中旬・下旬 ) ( 土日祝日・平日 ) いずれかに○ ( 時 分～ 時 分) _____ 分間 ※上限90分間	
希望する支援内容	(希望される内容)		
実施会場	(会場名)		
	(住所)	電話	
参加予定者	<input type="checkbox"/> 児童・生徒 <input type="checkbox"/> 教職員・学校図書館司書 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> その他 第 ( ) 学年 ( ) 人程度		
その他			

※すべての項目をご記入ください。

学校長 様

鳥取県教育委員会事務局社会教育課長  
(公印省略)

ビブリオバトル実施支援決定通知書

平成 3 1 (令和〇) 年〇月〇日付けで申請のあったビブリオバトル支援者について下記の者を派遣することに決定しました。

記

1 実施の概要

- (1) 日時 平成 3 1 (令和〇) 年〇月〇日(〇)  
午後〇時〇〇分から〇時〇〇分まで
- (2) 場所 〇〇〇立〇〇〇学校 〇〇室
- (3) 内容 (例) 大学生によるビブリオバトルデモンストレーション  
(例) ビブリオバトル大会の進行及び総評

2 派遣するビブリオバトル支援を行う者

〇〇 〇〇

3 その他

申請者は、研修会終了後に速やかに実施報告書(様式 4)を当課生涯学習推進担当に提出してください。

【担 当】生涯学習推進担当

電 話 : 0 8 5 7 - 2 6 - 7 9 4 3

ファクシミリ : 0 8 5 7 - 2 6 - 8 1 7 5

〇〇大学  
〇〇 〇〇 様

鳥取県教育委員会事務局社会教育課長〇〇 〇〇  
( 公 印 省 略 )

ビブリオバトル実施支援決定について（依頼）

このことについて、別添様式2のとおり決定しましたので、よろしく申し上げます。

【担 当】生涯学習推進担当

電 話：0857-26-7943

ファクシミリ：0857-26-8175

様式 4

ビブリオバトル実施支援事業報告書

学校名 市町村名	代表者職・氏名：				
担当者		連絡先	( )	—	
開催日時	令和 年 月 日 ( ) : ~ :				
会場			支援者氏名		
参加人数	児童・生徒	教職員・学校図書館司書	保護者	その他	合計
	人	人	人	人	人
支援内容について	(いずれかに○をしてください) ・とてもよかった                      ・おおむねよかった                      ・ふつう                      ・あまりよくなかった                      ・よくなかった				
	(記入例) 大学生によるビブリオバトルデモンストレーション、校内ビブリオ大会における進行及び総評				
今後の取組について	ビブリオバトルをこれからも継続したいと思いますか。(いずれかに○をしてください) ・ぜひ                      ・できれば                      ・どちらでもない                      ・あまり思わない                      ・思わない [理由]				
主催者、参加者の感想などお寄せください。(感想用紙のコピーを添付いただいても構いません)					

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ・送付先：〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地

鳥取県教育委員会事務局社会教育課

電話：0857-26-7943 ファクシミリ：0857-26-8175 電子メール：shakaikyoiu@pref.tottori.lg.jp